

なるほどのう



学校教育担当
キャラクター
甲斐善之助

西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

12月号



【国語科の授業改善シリーズ 中学校国語科研修編】
単元全体を見通して
1時間、1時間を大切にした授業づくり

～円滑な幼保小連携・接続をめざして～
『子どものこころとことばの育ち
暮らしの中でできること』

特別支援教育ほっと通信
個別の指導計画の目標設定のポイント

【西部地域開催】
鳥取県エキスパート認定教員による公開授業の御案内

単元全体を見通して1時間、1時間を大切にしたい授業づくり

10月21日(金)大妻女子大学教授樺山敏郎先生を招聘し、中学校国語科授業づくり研修会を開催しました。講義の始めに「たかが1時間(50分)、されど1時間(50分)、先生方は、情熱をもって授業をされていますか?」と問われました。

単元を見通し、「自主性」と「主体性」の違いを意識することが重要です。子供たちが主体的に学び、育成すべき資質・能力を身に付けるためにも単元全体を見通し、1時間、1時間を大切にしたい授業づくりをしていきましょう。



「自主」の意味

「やるべきこと」は明確になっていて、その行動を人に言われる前に率先して自らやること。

「主体」の意味

何をやるか決まっていなくても、自分で考え判断して行動すること。

主体的な人は、「目的は何か」を明確にし、それを満たすために何をするかを自分で考え、ある面ではリスクを理解し行動できる。

外発的動機付け > 内発的動機付け
やらなければならない = 義務感

外発的動機付け < 内発的動機付け
何とかしてやってみたい = 向上心・意欲

“自主的”な学びは必要。それ以上に、今後の未来の担い手を育てる教育には、“主体的”な学びが重要。それを考えていくと、個別最適な学びへつながる。

主体的に学ぶための授業づくりの提案



① 「スクール形式でなくてはならぬ」からの脱却

【例】・口の字型 ・対立型 ・コの字型 ・囲み型など

○1問1答の授業から脱却し、子供同士をつなぐ授業にしていく。

○授業は先生のための場ではなく、子供と創る場なので、子供たちに学習の場を選択させてもよい。



② learning mountainを用いてゴールの明確化

○教員が指示をするのではなく、生徒が自分で主体的に動く授業にする。

○learning mountainを示し、ゴールに向かって進んでいく過程を明確にする。

○1つ1つのポイントをシンプルに分かりやすく可視化することで、子どもがゴールに向かって主体的に学びを進めることができるようにする。



【例】『枕草子・徒然草』



③ 活動(ワークや作業)を個別最適化

○鉛筆で書きたい生徒もいればPCで打ちたい生徒もいる。これからは選択の時代になっていく。

○授業の中でノート、ペーパーベースのワークシート、コンピュータベースのワークシートの中から自分で学習しやすいものを選択させる。

○生徒の実態を把握し、困り感を抱きそうな場面を想定し、支援方法を考え設定していく。



④ 記述する際には条件を提示

○3Z(時間・字数・条件)を意識→詳細は研修パッケージ(中学校国語)を参照。

○必要となる条件を評価基準として示すことで、生徒と評価の基準を共有することにつながる。



研修パッケージ
QRコードはこちら



⑤ 教科書を超えて多読へ

○教科書以外の教材も効果的に用いる。

【例】教科書の「徒然草」の本文を読んだだけでは理解は深まらないが、「徒然草」の章段をたくさん読むことで「徒然草」のよさが分かるようになる。



「支援を必要とする子供たち一人一人に作成されている個別の指導計画の作成の仕方や活用の方法がわからない。」といった相談を受けることがあります。今回は、**個別の指導計画の具体的な目標設定のポイント**について御紹介します。

【冰山モデル】

具体的な目標を設定するためには、的確な**実態把握**が必要！

目に見える「困難さ」

- ・宿題や手紙を提出できない。
- ・時間内に準備ができない。

見えにくい課題
見えにくい要因

認知が低い 語彙が少ない
見通しをもちにくい
自信がない 気がちりやすい

見えにくい課題・要因にアプローチすることが重要

目に見える**行動**（海面に出ている氷）は、
様々な**背景**（海面下に隠れている巨大な氷）
によって引き起こされています！

「困難さを引き起こす要因は何か？」を
考えることが重要です！



【目標設定のポイント】



具体的な**目標設定**を行うためには、
「**条件**」「**行動**」「**基準**」の**3つの要素**
が示されていることが大切！

的確な**実態把握**

具体的な**目標設定**

指導内容・指導方法・指導場面
などの明確化

適正な**評価**

具体的な目標を設定することが、
適正な評価につながります！

「**条件（状況）**」とは・・・

利用される環境や教材、支援の質を
明らかにする内容

「**行動**」とは・・・

評価ができる行動を示す「動詞」の記述

「**基準**」とは・・・

許容できる達成度の基準点、標準点

（短期目標例）朝の準備をすることができる。

「**条件**」「**行動**」「**基準**」が十分に示されておらず

評価困難・・・

目標の再検討！

条件

条件

基準

行動

いつ？

手立ては？

いつまでに？

何ができる？

3つの要素をもとに修正してみると・・・

（修正短期目標例）

登校してすぐに、一人で連絡ボードを確認し、提出物と宿題を

朝の会が始まるまでに

決められたボックスに

提出する。

目標の再検討！

なぜできなかったのか？

条件

基準

行動

◆評価が可能に！

できなかった・・・

できた！

◆次につながる目標設定が可能に！

- ・連絡ボードで → 連絡帳で
- ・朝の会までに → 5分以内で 等

子供が
確実な力を
身に付ける！



鳥取県エキスパート認定教員による

公開授業の御案内

西部教育局
令和4年12月



優れた教育実践を行っているエキスパート教員の授業を参観することは、教育技術を学ぶとてもよい機会です。教科等の指導技術や児童生徒がいきいきと学ぶ環境づくり等、具体的な姿から指導のコツやポイントを学ぶことができます。ぜひ、御活用ください。

認定分野

「小学校 国語」

米子市立 淀江小学校

米子市淀江町西原244番地2

●授業者

吉田 温子 教諭

●開催時間 【受付】13:30~13:45
【公開授業】13:45~14:30
【研究協議】14:35~15:45

●授業内容 【単元名】第1学年
声に出して読もう「おとうとねずみチロ」
※物語を読む学習に楽しく意欲的に取り組ませるための工夫
※1年生に人物の様子を読み取らせるための手立て
※読み取ったことを音読で表現させるための指導の工夫
※基本的な学習規律の指導

授業日

12月2日
(金)

12月1日(木)
申し込み
締め切り

参加申込

★ファクシミリ送信票で、実施校へ直接申し込みをしてください。

※開催案内とファクシミリ送信票は、各校へC4thで送付されています。

また、鳥取県教育センターホームページ【エキスパート教員授業案内】からダウンロードすることもできます。

※公開授業ごとに、締め切り日が異なりますので御注意ください。



鳥取県教育センターホームページからの参加申し込み方法

- ①教育センタートップページを開く
- ②「エキスパート教員授業案内」をクリック!
- ③参観したい校種をクリック!
- ④一覧表に添付されている「ファクシミリ送信票」を開いて印刷
- ⑤必要事項を記入し、開催校の学校長宛にファクシミリで送付

「エキスパート教員授業案内」をクリック!

☆感染症対策への御協力をお願いいたします。



※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催方法の変更又は中止、延期になる場合がありますので、あらかじめ御了承ください。